

今こうだから

現状と課題

田園地域の人口減少

- 1 担い手不足
=稼げる仕事 Down
- 2 社会インフラ縮小
=生活水準 Down
- 3 コミュニティ崩壊
=文化・景観 Down

こうなりましょう

ありたい姿

自然を感じられる空間で充実した暮らしを維持

- 1 地域で住民が稼げる仕組みができています
=地域内に継続できる「**仕事**」(生業)がある
- 2 住民+外の人とのコミュニティが育っている
=惹きつけられて**人が入ってくる**
- 3 地域の歴史・文化・景観に対して住民が誇りを持つ
= 外の人憧れを持つ

この方法で

解決する課題

経済・コミュニティの循環をつくる

- 1 **生業の再興**
=地域の稼ぐ力 **Up**
- 2 **求心力のある地域の創出**
=コミュニティ **Up**
=文化・景観 **Up**

重点的検討課題

担い手不足

- ・ 事業の担い手がいない
 ↳ 農業、林業などの産業衰退
- ・ 耕作放棄地の増加



地域内で稼げる仕事がない

社会インフラ縮小

- ・ 学校の廃校
- ・ 医療機関の減少
- ・ 買い物難民
- ・ 公共交通サービス利便性低下



快適で文化的な生活水準を保てない

コミュニティ崩壊

- ・ 地域文化の後継者がいない
 ↳ 郷土料理や伝統芸能の衰退
- ・ 空き家の増加
- ・ 景観が維持できない



人を惹きつける文化・景観の喪失



さらに住民が減る

地域で住民が稼げる仕組み

できている

- ・ 地域での生業が「仕事」(生業)として成り立つ
- ・ 20年後、30年後を想定したスキームがある
- ・ 地域のビジネスモデルを考えられる人がいる
- ・ アントレプレナーシップを持つ人がいる



地域内に継続できる「仕事」(生業)がある

住民 + 外の人とのコミュニティ

育っている

- ・ 住民が充実した生活をしている姿が見える
- ・ 外の人が地域での生活を楽しんで滞在している
- ・ 住民の中に多様な人がいる
= 価値観、世代、性別、職業、出身地が異なる人が自分らしく過ごしている
- ・ デジタル、テクノロジーが活用され、不便を感じない



惹きつけられて人が入ってくる

→ 社会インフラの維持

地域の歴史・文化・景観

住民が誇りを持つ

- ・ 地域の歴史を住民が自分ごととして知っている
- ・ 曳山や獅子舞などの伝統芸能を通して外の人にも巻き込んだコミュニティができている
- ・ 「残したい」景観が保たれている



外の人憧れを持つ

→ 人が入ってくる



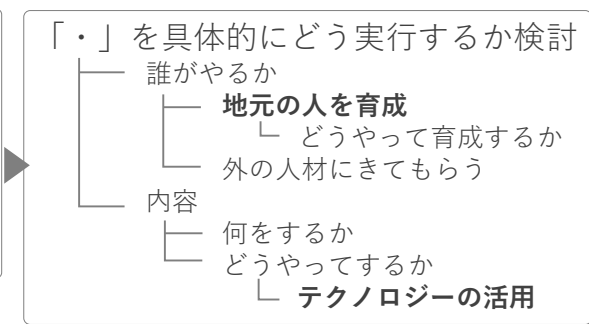
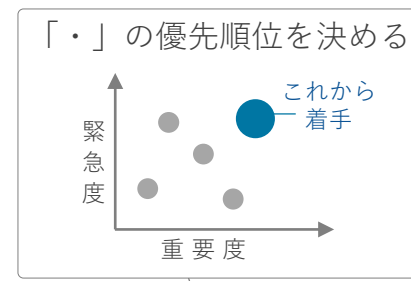
自然を感じられる空間で快適で文化的な充実した暮らしを維持

なりわい
生業の再興

- ・ 地域にもともとある生業に
新たな付加価値をつけて再興する
(例) 農業×有機×体験×農家レストラン
- ・ 地域の困りごと解決を仕事として成立させる
(例) 空き家調査
- ・ スタートアップを地域 + 行政で支援する

求心力のある地域の創出

- ・ 住民が 何のために どんな人が 必要か
明確にして地域で共有する
▶ どうやって地域に巻き込むか考える
- ・ まちの玄関口となる拠点をつくる
(例) バタバタ茶を飲める場所
- ・ 地域資源、活動を再評価(=ラベルの貼り替え)
してコミュニティが生まれるように再構築
(例) 空き家×アート×観光
薪集め×林業体験×親子×観光



- ・ 住民に 地域の文化 を知ってもらう
(例) 歴史、食、伝統芸能、言い伝え
- ・ 地域の文化に関連するイベントに
外から参加者が集まることによって
▶ 住民に誇りを持ってもらう
▶ 地域のファンを作る
(例) 越中瀬戸焼、立山Craft
- ・ 景観に愛着を持ってもらう

≡
地域の稼ぐ力を上げる

≡
コミュニティを形成・拡大させる

≡
文化、景観に注目を集める

経済・コミュニティの循環をつくる

